



2022年7月14日発行

# 奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.4

## 企画参加者向け説明会・交流会 2022年6月22日(水)

奈良町の企画参加者の皆様を対象とした  
説明会・交流会が開催されました！

東拓実さん

(天理大学学生)

六月二十二日(水)の晩、奈良町にぎわいの家にて「奈良町見知ル説明会・交流会」が開催されました。この日は、特別公開スポットや特別イベントの企画参加者の皆様を対象に、今年度の事業概要に関する説明と役員や実行委員を交えた交流が行われました。

説明会は、実行委員長の倉橋みどりさんの挨拶で始まりました。「昨年度『全国町並みゼミ奈良大会』」の一部として開催された奈良町見知ルですが、今年度より実行委員会形式での運営に仕切り直して継続していくことになりました。初めての開催となりました。昨年度の反省点も十分に踏まえ、今年度は企画者の皆さんにより主体的に取り組んでいただけるよう、そして、この事業にかかる関係者同士のつながりを大切にして「参加してよかつた！」という達成感や充実感を共有できるような取り組みにしていきたい」と倉橋さん続いて、配布資料をもとに実行委員会から事業概要が説明されたので、この紙面でもダイジェストでお届けします。

この事業は、多くの人が奈良町の「ちょっとといいところ」を知り、地域に足を運ぶきっかけを作ること、また、そこに暮らす人たちが「まちの魅力」を再発見する機会となること、さらに各エリア（きたまち、ならまち、高畠、京終・紀寺）相互に「まちの個性」を理解し合うこと、奈良町全体の魅力発信につなげていくことを目指しています。

今年の開催期間は、十一月六日(日)から十三日(日)までの八日間です。



第三に、企画内容は、企画参加者自身でご検討いただきます。それを実行委員会でとりまとめ、機動的・効果的に広報するという協力体制をとります。共催の奈良市も、広報を全面的にバッ

ません。第二に、企画参加にあたって、企画参加料や広告料等は一切発生しません。来場者から入館料、見学料、イベント参加料を徴収することは可能ですし、その際は企画参加者が全額収受いただけます。



クアップしてくれます。

第四に、昨年できなかつたことは、今年は企画参加者など、士、また企画参加者と実行委員会のコミュニケーションや一体感をより一層大切にしていきたくと思います。相談や提案など、気軽に実行委員会にお寄せください。人手が足りないことも見込まれますので、今年は実行委員会でボランティアの募集も計画しています。必要人員が十分に確保できない場合もありますが、まずはご相談ください。

今年も、特別公開と特別イベントの二つの形態を予定しています。特別公開は、皆様が所有されている施設等を広く公開していただくものです（開放日時を設定可、原則として事前予約なし）。特別イベントは、今年度より実行委員会主催のものと企画参加者主催のものとに分けられます。今日お越しの企画参加



者の皆様には、特別公開か特別イベントのいずれか、また両方で企画内容をご検討いただければと思います。

「企画参加申込書」に沿って企画内容を記入していただき、七月十一日（月）までに奈良町見知ル実行委員会までメールでお送りください。この申込書の記入内容がパンフレットの掲載内容になつていきます。また、来場者の心をくすぐるような写真やワード、来場者が楽しめる見どころを積極的に散りばめて申込書を作成してみてください。

説明会に続いて行われた交流会は、全体で参加者の自己紹介から始まりました。その後、私たち天理大学生涯教育専攻の学生がバトンを引き継ぎ、交流会に先立つアイスブレイクとして紙風船を使つたミニゲームを楽しみました。シンプルなルールでグループ対抗戦を行いましたが、続く交流の雰囲気づくりの一助になつていて幸いです。さて、いよいよグループに分かれての交流です。それぞれの

＊＊＊

広報のスケジュールとしては、七月十一日（月）までに提出された申込書をとりまとめ、八月にかけてパンフレットの作成を進めます。できるだけ早く広報が開始できるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

「企画参加申込書」に沿って企画内容を記入していただき、七月十一日（月）までに奈良町見知ル実行委員会までメールでお送りください。この申込書の記入内容がパンフレットの掲載内容になつていきます。また、来場者の心をくすぐるような写真やワード、来場者が楽しめる見どころを積極的に散りばめて申込書を作成してみてください。

今年度の奈良町見知ルでは、企画参加者の皆様と実行委員会が一体となつた盛り上がりが期待されます。微力ですが、私たちも少しでもお役に立てるよう、奈良町のことともっと学んでいきますので、今後もどうぞよろしくお願いいたします。



グループで、疑問点を共有したり、企画内容について情報の共有や意見交換をしたりといつたように、真剣かつ楽しい雰囲気の中で交流が進んでいきました。特に、同じエリアの中で開催日を揃えるなど、お客様が周遊して楽しめるような参加施設同士の連携を期待する声が多く、予定時刻を過ぎても交流は続きました。最後は、笑顔で会場を後にされていく皆様の様子を目にすることができました。



今年度の奈良町見知ルでは、企画参加者の皆様と実行委員会が一体となつた盛り上がりが期待されます。微力ですが、私たちも少しでもお役に立てるよう、奈良町のことともっと学んでいきますので、今後もどうぞよろしくお願いいたします。



奈良町見知ル实行委員会 Newsletter No.4

2022年7月14日発行

編集責任者：杉山晋平（天理大学）  
取材・執筆：東拓実（天理大学学生）  
写真撮影：田辺七海（天理大学学生）  
連絡先：[shimpei@sta.tenri-u.ac.jp](mailto:shimpei@sta.tenri-u.ac.jp)

